

# 新型コロナ環境下での ジャッジ活動

2021年2月7日

神島 要

# もくじ

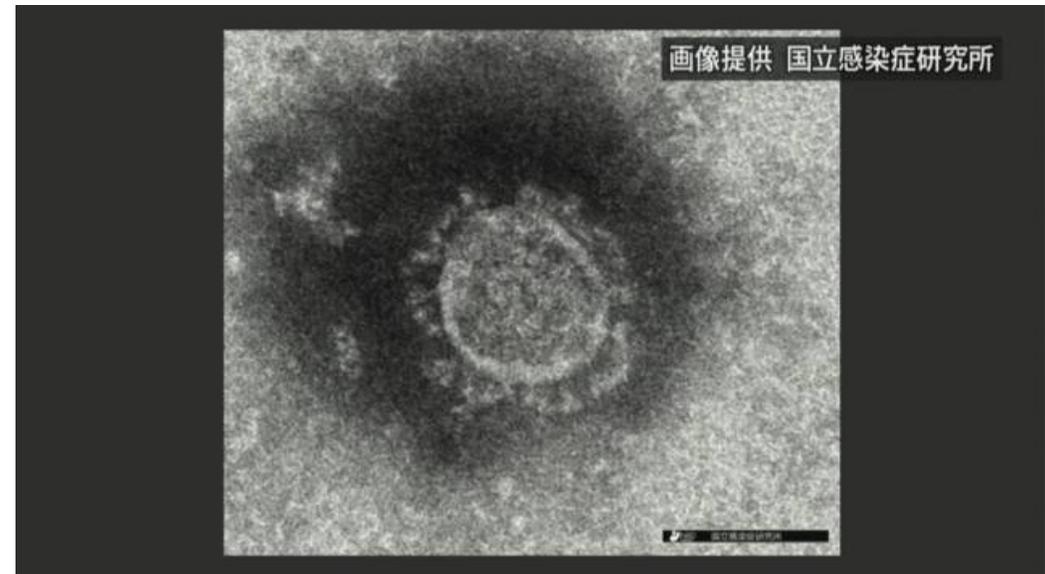
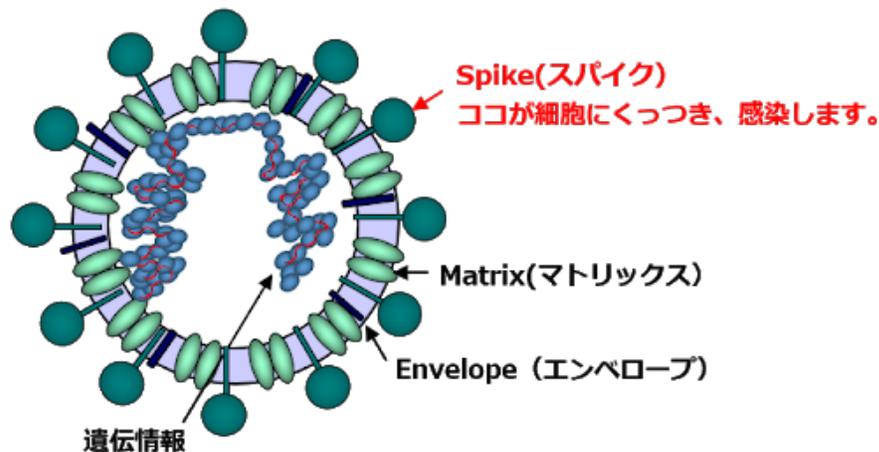
- 日本における新型コロナ環境
- 変化したMTGのプレイ環境
- 変化したMTGとジャッジの関係
- 今、認定ジャッジができること
- 今だから、ジャッジがやったらよいこと
- 大型テーブルトップの復活に向けて

# 新型コロナウイルス（肺炎）とは

- 武漢が発生源と言われるコロナウイルス（風邪の原因の1つ）
- ほとんどの人間が免疫を持たないため、感染が収束しない
- 潜伏1~12日（平均5日）、発症3日前からウイルス排出
- 接触感染、飛沫感染によって流行が拡大

## コロナウイルスの構造

コロナウイルスは外側の殻と中身の遺伝情報で、できています。



# 感染防止に必要な対策、措置

- 感染対策全般

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間）
2. 密集場所（多くの人々が密集）
3. 密接場面（近距離での会話や発声）

①換気の悪い  
密閉空間



②多数が集まる  
密集場所



③間近で会話や  
発声をする  
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。  
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

- 感染疑い者のスクリーニング

体温測定（37.5度以上の発熱）

身体異常の確認（息苦しさ、怠さ、咳、嗅覚・味覚異常）

渡航歴、感染者との濃厚接触の有無

# 感染防止に必要な対策、措置

- 接触感染対策

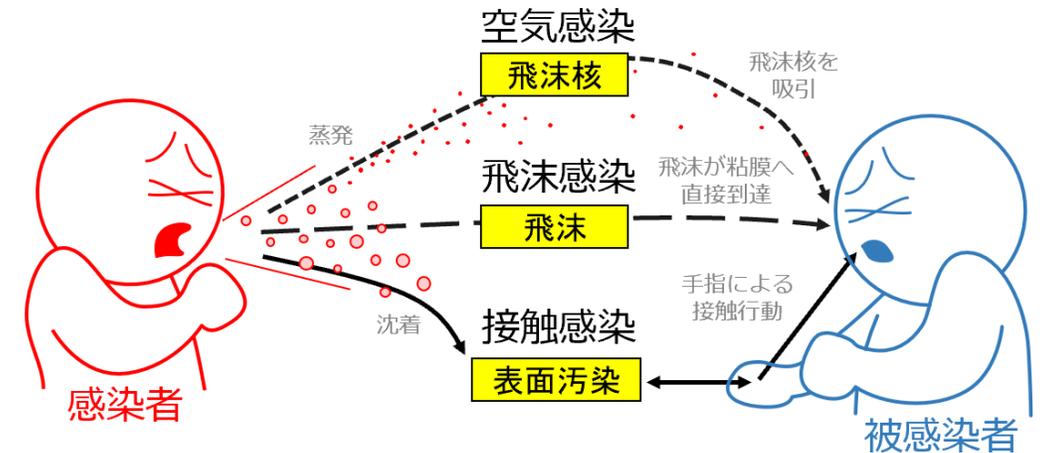
公共接触部の消毒（次亜塩素酸水）  
定期的な手洗い（アルコール使用）  
外出着の洗濯、洗顔・入浴

- 飛沫、空気感染対策

マスクの着用、飛沫防止シート  
多人数室内、会話を伴う飲食自粛  
室内の継続的な換気

## 正しい手の洗い方

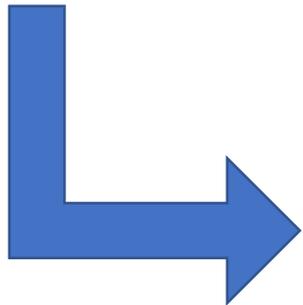
手洗いの前に  
・爪は短く切っておきましょう  
・時計や指輪は外しておきましょう



室内環境では、主に3つの感染経路がある

# 典型的な感染エピソード

- マスクをしないでの、密集密閉空間での活動  
⇒ 長距離移動の車中、スポーツジム、銭湯
- マスクをしないでの会話、発声  
⇒ 合唱サークル、カラオケ、ライブハウス
- 会話をしながらの飲食  
⇒ 飲食店、飲食を含む接客店 等
- 高リスク環境（医療、介護現場）



- 1) 声を出すなら、マスクをする
- 2) マスクをしないなら、口を開けない
- 3) 口にモノを入れるなら、消毒する、人から離れる

# 感染リスクを抑えたイベント運営



感染対策を行うも、参加者多数で効果が薄かった草の根大会の事例



使用者、時間、エリアを隔てて対策を実施している店舗の事例

# 日本における新型コロナウイルス

- 国内での感染第三波を止められず、拡大を続けている。  
東名阪を中心に「緊急事態宣言」が発令中。
- 南アフリカ発祥の変異種のため、国外からの外国人の入国が著しく制限されている状態。物流の停滞も始まっている。
- WotCは1月上旬～2月上旬までの全イベントを停止、その後のイベント開催可否は2月上旬決定と思われる。  
(とはいっても、全世界の感染拡大が止まらないため、イベント停止は継続するものと思われる：21年1月末現在)

# 変化したMTGのプレイ環境

- WotCによるテーブルトップの断続的な中止要請
- MTGAの台頭、その結果としてのMOの停滞
  - WotCが強力にバックアップ、拡大を目指すDCG分野
- 友人対戦
  - WotCによる統率者戦推し、友人間であればリスク小さい
- 店頭イベント
  - 感染対策によるスペース減少、WotC中止要請で不安定
- 大型イベント
  - プレイヤー、会場、あらゆる事情で開催困難

# 変化したMTGとジャッジの関係

- MTGAの拡大、オンライン対戦の充実
  - カードルールの誤りが基本的でない。ゲーム中エラーも発生しないため、ジャッジ不要。
- 友人対戦の非可視化
  - 個別での対戦主体になり、ジャッジからアクセスしにくくなった。
- 店頭イベントの自粛、縮小
  - FNM等の開催不安定、人数減少によりL1の活躍の場が減少。
- 大型イベントの中止
  - L2以上が持つ（持っているべき）技能を生かす場が消滅。

# 今、ジャッジができることは・・・

- 新しいカードに（常に）興味を持つこと
- 新しいルールを確認すること
- ルールの相互作用について訓練すること
- 他のジャッジと様々な情報共有をすること
- カンファレンスなどのオンライン活動に参加すること

# 今だから、L1ジャッジがやるとよいこと

- MTGAや店頭イベントに参加する
- 店頭イベントで（機会があれば）ジャッジをする
- イベントリンクの使い方を理解する
- 身近なプレイヤーの質問に積極的に答える
- アカデミーのスキルツリーをできる範囲で埋めてみる

# 今だから、L2ジャッジがやるとよいこと

- L2として最低限のスキルを維持し続ける
- L1ジャッジのスキルや知識の維持を手助けする
- ジャッジアカデミーとL1ジャッジの橋渡しをする
- プレイヤーへ（新旧）ルールの啓蒙を続ける
- カンファレンスでの発表や議題提起をする

# 大型テーブルトップの復活に向けて

- （個人的な予想ですが）2021年中でのMF開催は難しいと考えられます。ワクチン等の効果次第の部分ではありますが、プレイヤーの渡航制限が解除される見込みがないからです。
- そのうえで、2022年にMF再開があるとして……
  - HJに必要なスキルや理念の呼び起こし
  - 各タスク（チーム）ごとに必要な知識を忘れないようにする
  - トーナメント進行の再確認（特にリミテッド、3人チーム戦）
  - デッキチェック練習
  - 長時間の稼働に耐える体力づくり

# まとめ

- 新型コロナの影響、WotCの企業方針により、MTGのプレイ環境はオンラインに大きくシフトした。オンラインイベントでは基本的にジャッジ不要である。
- 店頭イベントはWotC指示により不安定であり、大型イベントは開催が困難である。今までのテーブルトップ主体であった認定ジャッジの活躍が大きく制限されている。
- とはいえ、テーブルトップイベントが復活することを想定した基礎能力の維持、スキル継承を続けることが求められている。

**早くMF開催できるようになるといいねえ**